

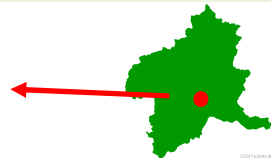
産地パワーアップ事業の取組事例

(群馬県)

取組の概要

計画作成主体：高崎地域農業再生協議会
対象品目：トマト（産地面積3.82ha）
主な取組主体：JAたかさきトマト選果場
成果目標：販売額の10%以上の増加
基準（H30年度）170百万円
目標（R3年度）206百万円
導入施設等：整備事業
（低コスト耐候性ハウス 2棟）
生産支援事業（機械リース）
（CO2発生器、自動灌水設備、
環境制御盤、暖房機）

群馬県
高崎市
南八幡地域



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

当該産地では、昭和40年代からトマトの栽培が始まり、昭和53年には選果場やガラスハウスが整備され、共同選果ならびに共同販売を行っている。共選されたトマトは「うれっ娘トマト」というブランド名で県内外に販路がある。施設の老朽化や生産者の高齢化などが進行しているが、本事業を活用し、更なる所得の増加やブランドの向上を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

- ① 産地の更なる拡大に向け、低コスト耐候性ハウスを新設。
- ② 販売額の増額を目的として、CO2発生器・自動灌水施設・環境制御盤・暖房機をリース導入することで収量の増加を図る。
- ③ 省力化のために自動灌水施設や環境制御盤をリース導入して労働力確保に繋げる。

推進体制

・西部農業事務所(県)
・JAたかさき
・高崎市 農林課

指導・助言



JAたかさき

高崎市農業再生協議会
①計画の策定・管理
②取組計画への助言

情報共有

取組主体
①取組計画の作成
②取組実施 等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・「うれっ娘トマト」を商標登録し、ブランド化を図っている。
- ・機械、施設導入の県補助事業には、市が上乗せ補助を行う。

期待される事業効果

【事業実施による直接効果】

- ①ハウス整備による栽培面積の拡大
- ②機械リースによる生産量の増加
- ③機械リースによる省力化

【事業実施による間接効果】

- ①担い手による作付面積が拡大し、収量が増加。
- ②施設等の整備により、新規就農者の受入れ体制の強化。



販売額が増加

～トマトの販売額～

